

おおいた大会 開催要項

大会概要

【テーマ】私の未来戦略～next stage of my social work～

【会期】2023年10月7日（土）～8日（日）

【会場】J:COM ホルトホール大分（同時 Zoom 配信、後日オンデマンド配信）

【大会長】脇坂健史（臼杵病院 / 大分県医療ソーシャルワーカー協会会長）

【主催】九州医療ソーシャルワーカー協議会

第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会 おおいた大会実行委員会

参加申込みについて

【参加方法】申込みフォームにアクセスしていただき、必要事項をご記入下さい。

参加申込と入金の方が確認できた時点で受付完了となります。

申込フォーム：<https://peatix.com/event/3525980>



申込 QR コード

【申込期間】2023年5月22日（月）～9月15日（金）

【参加費】会 員：6,000円（会員：九州各県の医療ソーシャルワーカー協会会員）

非会員：8,000円

学 生：3,000円

参加に関して

- ・オンラインでの参加をされる方は、原則1端末に1人での参加をお願いします。
- ・大会中、カメラ機能はできる限りONにさせていただき、グループワーク時以外はマイク機能をOFFをお願いします。
- ・ホストより参加者のマイク機能の操作を行わせて頂く場合があります。
- ・大会2日めのワークショップについては、第2希望まで選択して下さい。先着順で調整させていただきます。
- ・現地参加される方は、ご自身で宿泊先の確保をお願いします。
- ・大会詳細は下記リンクにてご確認下さい。

大会 HP→<https://www.kyusyuiryou2023-oita.com/>



問い合わせ連絡先

第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会 おおいた大会実行委員会事務局
〒879-2401 大分県津久見市千怒 6011 津久見市医師会立津久見中央病院 事務部 玉田
TEL：0972-82-1123 FAX：0972-82-8411 E-mail：oita-msw@oita-msw.com

大会スケジュール

【1日目】 2023年10月7日(土)

時間	内容	
12:00~13:00	受付	
13:00~13:30	開会式	
13:30~15:00	基調講演	「ヤングケアラーと孤独対策～24時間チャット相談窓口の現場から～」 講師：NPO あなたのいばしょ 理事長 大空 幸星先生
15:00~15:15	休憩	
15:15~16:45	トークセッション	「ソーシャルワーカーの未来戦略～各国のソーシャルワークの現状と未来～」 スピーカー：日本学術振興会特別研究員 フランス子ども家庭福祉専門 安發 明子先生 ロイヤル・コロンビア病院 MSW 千原 晋平先生 モデレーター：大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 脇坂 健史氏

【2日目】 2023年10月8日(日)

時間	内容	
9:00~9:30	受付	
9:30~12:00	ワークショップ	①「緩和ケア・終末期医療のソーシャルワークにおける倫理的ジレンマを4分割法で考える」 講師：大分大学 福祉健康科学部 教授 上白木 悦子先生 ②「マイパーパスワークショップ ～1人ひとりのパーパスを言語化し自分らしい生き方、働き方を創造する～」 講師：Action For Social Good 代表 フィッシュ 明子先生 ③「テクノロジーと人間のつながり：ICTを活用した医療・介護・福祉の可能性」 講師：医療法人陽仁会上青木中央醫院 MSW 清水 信貴先生 NPO 法人タダカヨ 理事長 佐藤 拓史先生 東京福祉専門学校 ソーシャル・ケア学部長 堀 延之先生 ④「尊厳を尊重したソーシャルワーカーのキャリアについて考える」 講師：大分県医療ソーシャルワーカー協会 岡江 晃児氏 ゲストスピーカー：漫画家 佐倉 旬先生
12:00~13:30	昼食	Cooking Cafe おしゃべりなスプーン×発達障害専門学習塾 marble×MSW
12:15~13:00	ランチセミナー	「未来を担う若者との語り」 スピーカー：筑紫女学園大学 社会福祉コース 3年 中島 寧音さん 大分大学 福祉健康科学部 3年 森田 帆南さん モデレーター：大分県医療ソーシャルワーカー協会副会長 今尾 顕太郎氏
13:00~13:15	癒やしの時間	大人を幸せにする絵本の読み聞かせ えほん屋 かのこ 岸本 由紀子さん
13:30~15:00	研究発表	
15:10~15:30	閉会式	

大会プログラム及び講師紹介

Day

1

10月7日(土) 13:30~15:00 基調講演

「ヤングケアラーと孤独対策～24時間チャット相談窓口の現場から～」



▶講師：NPO あなたのいばしょ 理事長 **大空 幸星** 先生

近年話題のヤングケアラーへの支援等を含め、ソーシャルワーカーにどのようなことを期待するのか。日本における孤独対策の第一人者である大空先生が、活動を始めるきっかけとなった自身の原体験や、24時間チャット相談現場の現状、自分や周りの孤独との向き合い方、「生きること」の大切さなども交えながら、複合化する社会課題をいかに解決していくのかをお話します。

【略歴】

平成10年11月26日生まれ。令和4年9月慶應義塾大学総合政策学部卒業。
「信頼できる人に確実にアクセスできる社会の実現」と「望まない孤独の根絶」を目的にチャット相談窓口を行うNPO あなたのいばしょを設立。令和4年末までに約50万件の相談に対応する。その他、孤独対策、自殺対策等をテーマに活動。2020年12月に「総合的な孤独対策の実現に関する提言」を政府・与野党に提出、翌年2月、孤独・孤立対策担当大臣が設置される。令和5年4月現在、フジテレビ「めざまし8」、東京MX「堀潤モーニングFLAG」、フジテレビ「mr.サンデー」、関西テレビ「Newsランナー」、Abema「Abema Prime」、TBSラジオ「アシタノカレッジ」等に出演中。

Day

1

10月7日(土) 15:15~16:45 トークセッション

「ソーシャルワーカーの未来戦略～各国のソーシャルワークの現状と未来～」

ソーシャルワーカーを取り巻く環境が日々変化していく中、我々にはどのような変化が求められているのか。そしてこれからの未来に向け、どのような戦略をたてていく必要があるのか。フランスとカナダにおけるソーシャルワークの現状と動向を知り、今後の展開をそれぞれが考えるきっかけとしたい。



▶スピーカー：日本学術振興会特別研究員
フランス子ども家庭福祉専門 **安發 明子** 先生

【略歴】

1981年鹿児島生まれ。2005年一橋大学社会学部卒、2018年フランス国立社会科学高等研究院健康社会政策学修士、2019年フランス国立社会科学高等研究院社会学修士。
2007年『家なき子ー北海道家庭学校ルポ』(ペンネーム島津あき) 金曜日社
2022年「フランスにおける子ども家庭福祉と文化政策」『「健康で文化的な生活」をすべての人に』河合克義、浜岡政好、唐鎌直義監修、自治体研究社



▶スピーカー：ロイヤル・コロンビア病院 MSW **千原 晋平** 先生

【略歴】

2004年ブリティッシュコロンビア大学ソーシャルワーク学士(BSW)取得。2009年ブリティッシュコロンビア大学ソーシャルワーク修士(MSW)取得。カナダのHIV/AIDS啓蒙団体(NPO)で6年勤務後、ベトナムにて国際協力活動を2年間行う。その後カナダに戻り、個人カウンセリングの開業や認知行動療法セミナーなどを主催し、2012年から現在に至るまでロイヤルコロンビアン病院にて医療ソーシャルワーカーとして働く。精神科、ペインクリニック、心臓外来、がん外来、神経外来を経て、現在は腎臓透析科に所属。



▶モデレーター：大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 **脇坂 健史** 氏

【略歴】

2000年老健の支援相談員として勤務開始。その後、医療機関にて医療連携室、緩和ケア病棟の立ち上げに携わる。大学病院転職後は主に小児科MSWを担当。児童虐待防止の体制づくりや医療・教育連携を確立し、同領域でのソーシャルアクションに注力する。現在は地域医療機関の事務長として全体マネジメントを行っている。大分県医療ソーシャルワーカー協会会長としては3期目(5年目)を迎えた。

Day 2 10月8日(日) 9:30~12:00 ワークショップ①/ 現地参加、オンデマンド配信のみ
「緩和ケア・終末期医療のソーシャルワークにおける倫理的ジレンマを4分割法で考える」



▶講師：大分大学 福祉健康科学部 教授 **上白木 悦子** 先生

このワークショップでは、倫理的ジレンマに直面した事例について4分割法を用いて、グループワークを経て検討します。ワークショップを通じて、倫理的ジレンマに対して、「全てを考慮に入れた、まあまあ妥当な判断はどのようなものだったか」また「どのような考えを優先したか」について、一緒に考えていければと思います。

【略歴】

九州大学大学院医学系学府社会医学専攻修了 博士(医学)。山口県立大学教授等を経て2019年より現職。2019年度には『緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割遂行の構造に関連する要因』において、日本社会福祉学会奨励賞(論文部門)を受賞。

主な研究内容は「緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割に関する研究」。

医療技術の長足の進歩や人口構造の変化、医療政策の転換等、さまざまな事情によって昨今、緩和ケアや終末期医療の場面においても倫理的・法的・社会的検討課題が増えています。例えば、意思の確認ができない患者さんの医療方針の決定について、周囲の人々や社会がどのように考えているかといったことは、誰にでも起こりうる倫理的・法的・社会的な検討課題です。これらの課題に対してソーシャルワークがどのようなことができるのか研究を続けています。

【論文】

- ・2021年, 上白木悦子「緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割の必要性—患者への質問紙調査の因子分析結果—」社会福祉学 62(1), 14-26.
- ・2018年, 「緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割遂行の構造に関連する要因」社会福祉学 59(3), 16-29.

Day 2 10月8日(日) 9:30~12:00 ワークショップ②/ 現地参加、オンデマンド配信のみ
「マイパーパスワークショップ～1人ひとりのパーパスを言語化し自分らしい生き方、働き方を創造する～」



▶講師：Action For Social Good 代表 **フィッシュ 明子** 先生

パーパスとは英語で存在意義、目的を表します。

何のために生きるのか。作り出したい、生きたいのはどんな世界か。

このワークショップではいくつかのアクティビティ、そして仲間の力をかりながら、1人ひとりのパーパス「マイパーパス」を言語化していきます。

【略歴】

マイパーパス：【わたしを愛する。わたしの人生を生きる。ひとがその人の人生を生きられるように、わたしの力を使う。】
社会福祉士、心理士、マイパーパス共創者・コーチ、スナックひきだし中洲店 ママ、キャリアコンサルタント
九州大学 芸術工学部研究院 ソーシャルデザインラボ(松前研) コーディネーター。
博多・中洲で「役にたたなくてもいい場所」をテーマにしたお昼のスナック「スナックひきだし中洲店」を営業。
ソーシャルワーカー、キャリアコンサルタント、心理士としてのフィールドワークの場でもあり、様々なコラボレーションの場でもある。新聞やTVなどメディアの仕事に従事。海外在住中に経験したマイノリティ体験が原点となり、帰国後は福祉大学で学び、ソーシャルワーカーとして福祉、オルタナティブ教育に携わる。
九州大学ソーシャルビジネス研究センター在職時に、社会課題解決を目的とするビジネス開発、バングラデシュ・グラミングループとの合併事業を推進した。

「誰も諦めなくてもよい社会にする」「誰もがその人の人生のすべての経験をキャリアにできる」という信念をもとに、1人ひとりが自分らしく生きる、働くためのサポートをしている。

Day
2

10月8日(日) 9:30~12:00 ワークショップ③

「テクノロジーと人間のつながり：ICTを活用した医療・介護・福祉の可能性」

本セッションのテーマである”テクノロジーと人間のつながり：ICTを活用した医療・介護・福祉の可能性”について、登壇した3人に加え、各地域で医療介護のICT化を進めているゲストも参加予定。それぞれの立場からテーマの内容について意見交換してもらいます。



▶講師：NPO 法人タダカヨ 理事長 **佐藤 拓史** 先生

【略歴】

早稲田大学大学院経営管理研究科修了(MBA)、スマート介護士、ウェブ解析士。介護ロボットやICT活用を研究する社会福祉法人善光会サンタフェ総合研究室に勤務。コロナ禍に、国から貰った10万円を投じて「オンライン面会」を普及させるボランティア活動を実施。多くの人に感謝された事をきっかけに、活動を発展させるべくNPO法人タダカヨを設立。



▶講師：医療法人陽仁会青木中央醫院 MSW **清水 信貴** 先生

【略歴】

社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員、NPO法人タダカヨ理事、福祉の現場ICT活用協議会社員、埼玉県医療社会事業協会ICT担当部門設立、地域連携看護師会ICT担当。これまでに地域包括支援センター、医療連携室、デイサービス等に所属。同時に法人のICT化を担当。ソーシャルワーカーとして「ICT×医療・福祉」で組織、地域課題の解決を目指している。



▶講師：東京福祉専門学校ソーシャル・ケア学部長
近畿大学九州短期大学通信教育部保育科非常勤講師 **堀 延之** 先生

【略歴】

大学院修士課程(専攻は行為論、心の哲学)、特別支援教育研究所特別研究員、障害児通所施設(法制化前の放課後等デイサービス)スタッフ等を経て、2005年滋慶学園グループ入職。以降、東京、福岡、埼玉の専門学校で福祉・保育・ヘルスケア領域の学生支援、学科マネジメント、カリキュラム開発などに従事。近年は特にICTを利活用したリアルな学びのデザインに取り組んでいる。

Day
2

10月8日(日) 9:30~12:00 ワークショップ④

「尊厳を尊重したソーシャルワーカーのキャリアについて考える」

社会変化に対し敏感にキャッチするソーシャルワーカーにとって、その社会変化に適応するために自分自身を常に変化させ未来を見据えた自分自身のキャリア形成を見つめることは必須です。しかし現実はその機会が不足しているのが現状です。そこで今回はキャリア理論もふまえ、具体的なキャリア形成をするための実践的なワークショップを行っていきます。



▶講師：大分県医療ソーシャルワーカー協会 **岡江 晃児** 氏

【略歴】

社会福祉士、修士(福祉社会科学)。2005年から病院や行政の現場で医療ソーシャルワーク実践をしている。実践の傍ら大学非常勤講師、スーパービジョン等の教育や大学院研究員として研究も行い、実践—教育—研究のソーシャルワークを行っている。



▶ゲストスピーカー：漫画家 **佐倉 旬** 先生

【略歴】

2019年講談社アフタヌーン四季賞準入選。
2021年アフタヌーンにて医療ソーシャルワーカーを題材にした、『ビターエンドロール』連載を開始。

Day
2

10月8日(日) 12:00~13:30 昼食

「Cooking Cafe おしゃべりなスプーン × 発達障害専門学習塾 marble × 大分県 MSW 協会」



大会に参加してくださった皆様とコミュニケーションを取りながら、おしゃべりなスプーンの後藤さんと発達障害専門学習塾 marble の子供達がおいしいお弁当を提供させていただきます！
marble の子供達にとっても貴重なお仕事体験の機会となります。一歩踏み出す子供達をぜひみなさん応援して下さい。そして大分で美味しい&楽しいお昼の時間を過ごして下さい♪

Day
2

10月8日(日) 12:15~13:00 ランチョンセミナー

「未来を担う若者との語り」

人生 100 年時代と言われる今、社会福祉を学ぶ大学生は今どのようなことを考えているのか？
そして、どのような未来を描いているのか？フレッシュな若者と熱い議論を交わします。



▶スピーカー：筑紫女学園大学 社会福祉コース 3年 **中島 寧音**さん

【略歴】

社会福祉士を目指し、大学で学んでいます。
脊髄性筋萎縮症で寝たきりです。
OriHime という分身ロボットを自宅から遠隔操作し、日本橋にある分身ロボットカフェで働いています。
社会福祉の業界を盛り上げていきたいと思ひます。



▶スピーカー：大分大学 福祉健康科学部 3年 **森田 帆南**さん

【略歴】

2002年、宮崎県延岡市生まれ。現在は、ボランティアやイベントの参加を通して「たくさんの人との出会いを経験すること」を目標に活動しています。大学では手話サークルの部長を務めており、手話を楽しく学んでいます。今は手話検定試験に向けて勉強中です。
将来の目標は、社会福祉士として活躍するはもちろんですが、出会った人に「あなたと出会えて良かった」と思ってもらえるような人になることです。



▶モデレーター：大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 **今尾 顕太郎**氏

【略歴】

大分大学大学院福祉社会科学科修了、社会福祉士、介護支援専門員、大分県医療ソーシャルワーカー協会副会長。長年の MSW や SSW の実践経験を持つ。現在は、所属医療機関で後進教育を担いつつ、福祉系大学や専門学校での非常勤講師も請け負っている。ソーシャルワーカーが持つ生命観・死生観が修士課程の研究テーマ。令和4年より、大分県医療ソーシャルワーカー協会会長脇坂氏とともにインターネットラジオのPodcast『Social Work Broad Cast』に乗せて、新たな時代のソーシャルワークなどについての情報発信を行っている。

Day
2

10月8日(日) 13:00~13:15 癒やしの時間 / 現地参加のみ

「大人を幸せにする絵本の読み聞かせ」



▶読み手：えほん屋 かのこ **岸本 由紀子**さん

【略歴】

1968年生まれ 55歳。2017年に大分市中央町にて小さな絵本専門店『えほん屋かのこ』を開店。シェアサロンの1角の小さなスペースに、こだわりのセレクトで仕入れた新本絵本と、中古の絵本を買取、販売をしております。移動絵本屋としても活動。車でおすすめ絵本を木箱に詰め込み、県内にて開催のマルシェなどに出店、絵本の読み聞かせ、おはなし会と一緒に絵本の販売をしています。お子様だけでなく、大人も楽しめる絵本を沢山の方に手にとってほしくて、笑顔になるような絵本を取り揃えております。